



今では当たり前のように家庭にあるカラーテレビ。この9月でカラーテレビ放送が60周年を迎えます。今回は、テレビ放送の歴史とカラーテレビの最新技術について調べてみました。

テレビの歴史

1950年代

日本で**テレビ放送がスタート**(1953)
当時は**白黒放送**でした。

皇太子(現上皇)さまご成婚パレード中継(1959)
それを機に一般家庭にテレビが一気に普及しました。

1960年代

カラーテレビ放送スタート!(1960.9.10)

日本はアメリカ、キューバに次いで**世界で3番目**にカラーテレビ放送を開始。
しかしカラーテレビは非常に高価で、普及は伸び悩みました。

静止衛星を利用した**世界初のオリンピック生中継(1964)**

他にも**スローモーションVTRの再生**など、新しいテレビ技術が登場。

東京五輪が開催され「東洋の魔女」と呼ばれた日本女子バレーボールなど、
数々の戦いをカラーで楽しみたい人々の中で**一気にカラーテレビが普及**しました。

宇宙からの**全世界生中継**

アポロ11号の月面着陸を、全世界で6億人が見守りました。

1970年代

ほぼすべての家庭にテレビが普及

大阪万国博覧会の**生中継**(1970)

万博とカラーテレビの2大ブームが全国に巻き起こりました。

ステレオ放送開始(1978年)

1980年代

衛星放送(BS、CS放送)本放送開始

天安門事件やベルリンの壁崩壊、湾岸戦争など、激動の様子が報道されました。

1990年代

ハイビジョン放送開始

プラズマテレビや液晶テレビが出てきたのもこの時代です。

2000年~

地上デジタル放送が東京・大阪・名古屋の三都市を中心に開始(2003)

地上アナログ放送終了(2011)

電波の有効活用を目的とし、地上アナログ放送から地上デジタル放送へ完全移行。

次世代のテレビディスプレイ

今次世代のディスプレイとして「マイクロLEDディスプレイ」が注目を集めています。LEDを使用したディスプレイで低電力・長寿命が特徴です。現在普及している、バックライトを利用する「液晶テレビ」やプラズマ体を発光させる「プラズマテレビ」と比べると、電力の節約や薄いディスプレイの実現が期待されています。しかし、小さなLEDを大量に敷き詰めるため技術や価格に課題が残ります。今後の開発がどう進むか楽しみです。



マイクロLEDディスプレイ(断面イメージ)

マイクロLEDは50~100μ以下!
小麦粉やスギ花粉と同じくらいの大きさです。